

で、自由に自分の言葉を表現することができない状況は、詩人にとって呼吸を止められるのと同じように苦しかったのではないかと思う。自由に自分の言葉を紡ぐことができない社会は、どれほど個人の心を崩壊させてしまうのかを痛感した。

一方で、今の私たちの環境をみれば、自由に学び、自由に言葉を口にすることが出来る。しかし同時に、異なる意見を持つ人が非難にさらされる場合もある。私自身、SNSに自分の意見を書いたとき、思ってもみない反応が返ってきて少し不安を覚えた経験がある。この、誰かに批判されるのではないかという不安から、自由に書ける場でも口を噤んでしまった。戦時中と比べるとは取るに足らない出来事だが、自由を制限される苦しさを、自分の経験を通して少し共感できたように思う。

この記事で、戦争は人の命だけでなく、夢や表現、自由までもを奪ってしまうのだと改めて実感した。そして、それを過去の歴史として終わらせるのではなく、教訓として受け継いでいくべきだろう。

自由に意見を言える今の環境を大切に、そして戦争の歴史から目を背けない。私はこの思いを胸に、これからの未来に希望を持ち、